

『 日航乗員闘いの軌跡 』

54年09月29日	日本航空乗員組合結成
64年11月	指名スト（日本の航空界における初の乗員ストライキ）
12月	指名スト
65年04月27日	組合役員4名懲戒解雇
05月27日	組合、東京地裁に被解雇者地位保全の仮処分申立て
〃	機長、組合脱退。会社、組合費チェックオフを中止
66年02月26日	仮処分組合勝利の決定。会社仮処分異議申立て
3月26日	組合、解雇事件で東京地裁に提訴（本訴）
4月24日	組合、都労委に4名原職復帰の救済命令申立て
7月25日	<u>一部機長</u> を中心に運航乗員組合発足
67年8月31日	都労委、解雇事件に救済命令
9月13日	会社、中労委に再審を申立て
69年4月14日	築野・山田らのATR受験差別で都労委に救済申立て
7月2日	中労委、解雇事件に救済命令
〃11日	掲示板確保の仮処分で勝訴
8月1日	会社、救済命令の取消しを求め、中労委を相手に地裁に提訴（行政訴訟）
〃18日	ATR受験差別事件で、都労委より救済命令
9月10日	築野年休仮処分事件勝訴
〃29日	組合、解雇事件地裁本訴で完全勝訴（1800万円の差押え）
〃30日	地裁、「中労委命令を直ちに履行し原職に復帰させよ」と会社に緊急命令（中労委から命令不履行の報告を受けて）
10月2日	機長会古谷野会長、独断で解雇撤回反対声明を発表
〃11日	会社、解雇事件を東京高裁に控訴
〃25日	会社、地裁に緊急命令変更の申立て
11月19日	地裁、同申立てを棄却 運乗で労働協約締結(ユニオンショップ導入)の策動 全員投票2回不成立、3回目は否決。
70年1月21日	4回目投票で205票のニセ賛成票発覚
5月18日	地裁、緊急命令違反で会社に過料200万円の決定
〃19日	都労委から救済命令（団交開催／丹羽・坂井賃金差別）
6月25日	会社、過料取消しを求めて高裁に即時抗告
7月	運乗第5期執行委員選挙で民主的機長選出の兆し
〃31日	機長全員管理職制度発足。機長、運乗を脱退
12月23日	運乗、組合大会で「乗員は一つ」の方針採択
71年3月19日	高裁即時抗告を棄却
〃25日	会社、最高裁に特別抗告

	5月24日	運乗、「高裁判決に従い解雇撤回を」との見解公表
	〃 25日	地裁、緊急命令違反で第二次過料 200 万円の決定
	6月	会社、高裁に即時抗告
	8月	高裁これを棄却 会社またもや最高裁に特別抗告
	10月23日	運乗、解雇事件で「公正判決」を最高裁に要請
	12月12日	運乗、統一促進のための署名開始
72年	2月26日	組合、築野淳司、山田隆三、丹羽 叡、坂井正一郎ら4名の機長昇格差別で都労委に救済申立て
	3月27日	運輸大臣、労使関係の正常化で会社に注意喚起
	4月26日	運乗、解雇撤回の要求決定
	7月31日	会社、中労委相手の行政訴訟に完敗。高裁に控訴
	8月15日	中労委から機長昇格差別で救済命令。会社再審申立て
	9月22日	地裁、緊急命令違反で第三次過料 200 万円の決定
		会社、直ちに高裁に即時抗告
	10月20日	乗員・運乗両組合同闘争委員会、統一ストを構える
	〃	機長会、スト反対声明
73年	1月26日	最高裁、第一次・二次過料の特別抗告棄却
		会社、係争中の事件（高裁・最高裁各2件）を取り下げ
		解雇撤回を表明
	2月 3日	機長昇格差別事件、中労委で和解協定締結。
	7月19日	解雇撤回協定に調印（乗員・運乗合同団交）
	?	組織統一のための投票開始（結果は圧倒的賛成）
	11月22日	大会で両労組統一宣言採択。名称は日本航空乗員組合
75年	9月 1日	築野淳司、機長会理事に就任
76年	9月 1日	山田隆三、機長会理事に就任
	12月	機長会、会社提案の乗員計画改悪案に支持声明
77年	9月 1日	丹羽 叡、機長会理事に就任
78年	9月 1日	丸山 巖、機長会理事に就任
79年	12月15日	訓練生全員組合に加入
82年	9月 1日	機長会初の会長選挙で当選した丸山 巖が会長に就任
85年	8月12日	123便JA8119号機墜落事故
	10月	機長会定期総会で機長管理職組合結成の準備
86年	2月	会社、乗員組合に「機長の組合活動の自由」を回答
	6月12日	機長組合設立